

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）  
（総括・分担）研究報告書

放射線療法の提供体制構築に資する研究（23EA1012）  
（分担課題名：SDMを補助するための患者向け情報提供機会創出を目指したフロー考察）

研究分担者 谷 謙甫  
研究協力者 木場 律子、佐久間 慶、松本 和樹、香坂 浩之

**研究要旨**

セカンドオピニオン外来の存在に着目し、利用の現状から運営においてどのような問題点を抱えているか、アンケートを実施し解析する。また潜在的な問題である問診時の理解度向上と悩み度の計量ツールを用いることで補助し、SDM（Shared Decision Making）実現へ貢献する。

**A. 研究目的**

近年、がん治療方法には様々な選択肢がある。がん患者が治療方法選択を行う方法の1つにShared Decision Making（SDM）という考え方が、近年提唱されている。SDMとは、質の高い医療決断を進めるために、最善のエビデンスと患者の価値観、好みとを結合させるための医療者と患者間の協働のコミュニケーション・プロセスと定義されている（SpatzES, JAMA, 2016）。本研究では、SDMを実現していくために、セカンドオピニオン外来がどの程度機能しているか、実情を分析し解析する。さらに問診時における患者の理解度・悩み度を、ツールを開発し定量的に計測する。

（予定を含む。）

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし

**B. 研究方法**

本分担研究では対象疾患を前立腺がんに絞り、患者団体や医療機関へのアンケートを実施し、患者がセカンドオピニオン外来や、主科と他科、どのようなルートでの診察を経て、治療方針の意思決定をしたかをアンケート調査によって明らかにする。

（倫理面への配慮）

アンケートは患者個人情報含まれず、結果を公表する際には施設名が公表されない形をとる。

**C. 研究結果**

現在、アンケート調査準備中のため詳細な結果は次年度に報告する。

**D. 考察**

現在、アンケート調査準備中のため詳細な考察は次年度に報告する。

**E. 結論**

現在、アンケート調査準備中のため詳細な結論は次年度に報告する。

**G. 研究発表**

現在、アンケート調査準備中のため詳細な学会発表スケジュール・報告実績は次年度に報告する。

**H. 知的財産権の出願・登録状況**